

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間数	1 単位 30 時間	外部講師
授業科目名	心理学	授業回数	14回 + 試験	
【ねらい・授業目的・目標】				
<p>授業目的：看護の対象である患者の気持ちを理解するために、また自分自身の心を理解するために基本的な知識を涵養する。</p> <p>到達目標：1. 人の心理と行動のしくみの概要について言及できる。</p> <p>2. カウンセリングや認知・行動療法の考え方など、実際の看護場面で利用できる臨床心理学的的方法について言及できる。</p> <p>3. 人間関係を良好・円滑に保つための心のあり方と方法について言及できる。</p>				
授業回数	【授業内容】 ※以下の内容について学ぶ			学習形態
1	人を理解するとは・人をみるとは。心理学の立場と概要。			講義
2	感覚、知覚、学習、感情・情緒、動機・欲求、欲求不満と葛藤。ストレス問題。			講義
3	健康とは。患者の心理。学習性無気力・自己効力感など。			講義
4	性格と知能と創造性について。			講義
5	発達段階と発達課題。			講義
6	遺伝か環境か、その両者の相互作用か。どちらが優勢か。			講義
7	社会・集団の心理、リーダーとリーダーシップ。			講義
8	看護職の心理、その心理的問題、ストレス問題。			講義
9	臨床心理学的支援・援助の概要。			講義
10	心理面接と心理アセスメント。			講義
11	人と人とのより良い関係をつくるために。			講義
12	カウンセリング概要。精神分析的人間理解。			講義
13	人間中心療法的人間理解（パーソンセンタードアプローチ的人間理解）。認知行動療法的人間理解。			講義
14	交流分析的人間理解。家族療法的人間理解。全体のまとめ。			講義
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
医学書院 看護学生のための心理学		学科終了試験90% 授業参加状況等平常点10% 合わせて60点以上を合格とする		
【実務経験と当該科目との関連】				
・実務経験がある臨床心理士・社会福祉士が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	論理学	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
<p>授業目的：物事を論理的に思考し客観的に評価できるような物の見方・表現方法（文章表現・自己表現）を養う。</p> <p>：論文（看護研究）を書く基礎的な知識を養う。</p>				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	論文作成の基礎	その1		講義
2	〃	その2		〃
3	〃	その3		〃
4	発表の実践法	その1		発表
5	〃	その2		〃
6	〃	その3		〃
7	討論の基礎	その1		GW
8	〃	その2		〃
9	討論の実践	その1		〃
10	〃	その2		〃
11	小論文の作成と発表	その1		発表
12	〃	その2		〃
13	〃	その3		〃
14	小論文に関する議論			GW
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
<p>論理トレーニング：野矢茂樹 （哲学教科書シリーズ）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・評価100点満点内訳：出席点10点、提出物20点、発表20点、学科終了試験（筆記試験）50点 ・60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 （次年度、再取得） 		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	担当学年・時期	1年次・前期～後期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	I : 1単位・30h II : 1単位・15h	I : 外部講師
授業科目名	情報学 I・II	授業回数	I : 15回 II : 7.5回	II : 外部講師
【ねらい・授業目的・目標】				
授業目的				
情報学 I : コンピューターの基本操作を学ぶ。				
情報学 II : 基本的な統計の整理の仕方、統計資料の解説を理解する。				
授業回数	【授業内容】			学習形態
	情報学 I (30時間)			講義 個人演習 (パソコン使用)
1	Windowsについて Windows10の画面構成、基本操作、ファイルの管理について			
2	ワープロソフトの活用について (Word) Wordについて 基本的な文書作成、図や表の挿入、表現力をアップする機能の利用			
3	インターネットについて (Microsoft Edge) ホームページの閲覧・検索 情報化社会のモラルとセキュリティについて ネット社会に潜む危険と対策について			
4	表計算ソフトの使用 (Excel) Excelについて 表の作成・編集・印刷、グラフの作成、データベース・複数のシートの操作			
5	プレゼンテーションソフトについて (PowerPoint) プレゼンを作成しオブジェクトの挿入、構成の変更、特殊効果の設定 プレゼンテーションの実施			
	情報学 II (15時間)			講義 演習 個人ワーク
1	統計学とは何か、統計学の必要性について ・統計学の分類 ・保健統計指標、医療の標準化と効率化			
2	尺度と度数分布 ・資料（データ）の収集法と整理法 ・尺度 ・度数分布、ヒストグラム ・表計算ソフト (Excel) を用いた度数分布、ヒストグラムの作成法			
3	代表値 ・平均値 (算術、幾何、調和) ・中央値、最頻値 ・代表値の特性 ・表計算ソフト (Excel) を用いた代表値の計算法			
4	散布度 ・標準偏差 ・四分位数、平均偏差 ・変異係数 ・表計算ソフト (Excel) を用いた散布度の計算法			
5	相関 ・散布図 ・相関係数 ・相関係数と因果関係 ・表計算ソフト (Excel) を用いた相関係数の計算法			
6	回帰直線と確立、確率分布 ・最小二乗法、回帰直線 ・正規分布と正規分布の標準化 ・カイ二乗分布、t分布 ・表計算ソフト (Excel) を用いた散布図と回帰直線の作成法			
7	母集団統計値の推定と仮設検定 ・母平均の区間推定 ・母平均と標本平均の差の検定 (片側検定、両検定) ・表計算ソフト (Excel) を用いた母平均の区間推定方法			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
情報学 I : 専用テキスト 情報学 II : 南江堂 やさしい保健統計学		情報学 I ・レポート50%、授業態度30%、出席20% 情報学 II ・講義終了後、学科終了試験実施 (筆記試験)		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	担当学年・時期	1年次・後期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	社会学	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
授業目的 ・社会的行為や相互行為、個人行為、個人と社会、社会と文化などを理解し、社会学的なものの見方・考え方を身につける。 ・人間生活の基盤としての家族及び家族員の関係に関する適切な認識を得る。				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	生物・心理・社会モデル 社会学とは			講義
2	保健医療と社会学			
3	健康・病気の新しい見方・捉え方			
4	健康・病気の社会格差 働き方・働かせ方と健康・病気			
5	健康・病気行動と病経験 患者・医療者関係とコミュニケーション 保健医療の専門職			
6	性・ジェンダー・家族と保健医療			
7	地域社会と保健医療 保健医療制度			
8	保健医療の現代的变化			
9	ケアと医療の新展開			
10	現代社会と家族関係（総論）			
11	家族看護の特徴と理念 家族看護の対象を理解する			
12	家族看護を支える理論と介入法			
13	家族看護の方法と展開			
14	家族看護の実践と事例 全体のまとめ			
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
医学書院 社会学 家族看護学		・学科終了試験（筆記試験）90%、授業参加状況等平常点10% ・60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 （次年度、再取得）		
【実務経験と当該科目との関連】				
・実務経験がある臨床心理士・社会福祉士が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	1年次・後期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	教育学	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
<p>授業目的： 望ましい人間形成における教育の意義・方法や現代の新たな課題を理解し、生涯学習や看護活動に生かすための基礎的能力を身につける。</p> <p>授業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の成長と教育・家庭教育の意義を理解する。 2. 学習指導、生活指導の意義・方法を理解する。 3. 教育評価の意義と目的を理解する。 4. 学校教育制度・学校教育の意義を理解する 5. 心身障害者の教育について理解する。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	社会の中の看護と教育			講義
2	子ども観と発達	【子どもと家庭理解】		講義
3	教育の営みを考える	【学校と家庭】		講義
4	↓	【不登校】		講義
5	特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育	【障害・看護・教育】		講義
6	↓	【発達障害と特別ニーズ教育】		講義
7	障害者への理解と看護			課題レポート
8	ジェンダーとセクシャリティ	【性的マイノリティ】		講義 DVD
9	キャリア教育	【キャリア教育の必要性】		講義
10	↓	【キャリア形成】		講義
11	生涯学習	【生涯学習の必要性】		講義
12	↓	【看護師の生涯学習】		講義 DVD
13	シティズンシップ教育			講義
14	授業の総括			講義 演習
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
医学書院 教育学		<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験70% レポート30%を基準に100点満点で評価 ・60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 (次年度、再取得) 		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	倫理学	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
哲学的な思索の歴史を学びながら、人間とその活動の本質について考える				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	倫理とは何か 「哲学・倫理学」はいつ始まったか、「哲学・倫理」の「自覚」とは何か			講義
2	哲学・倫理学の目的は何か。 プラトン・アリストテレスは何を求めたのか。			
3	宗教と倫理① キリスト教			
4	宗教と倫理② 仏教			
5	日本人の倫理 心と情について			
6	日本固有の宗教・神々について			
7	科学はいつどのように始まったか			
8	人間の感情について、とくに怒りと悲しみについて			
9	科学と人間 科学は何のために？			
10	社会と国家 国家は何のために？			
11	近代社会（私たちの社会）の理想は何か			
12	近代社会の諸課題			
13	キュアとケア (科学の役割と人間の生き方について)			
14	自然と人間 (人間は自然的な生命だが同時に自然を越え出ようとする存在でもある)			
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
『哲学から考える看護の倫理』		<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了試験とレポート（各回講義終了時に提出）を総合的に判断 ・ 60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・ 再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 (次年度、再取得) 		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	担当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	文学	授業回数	15回(テストを含む)	
【ねらい・授業目的・目標】				
多様な生き方、考え方を通して人間としての情緒、感性を養う。また自ら興味・関心のある芸術的なテーマに取り組むことにより、創造性を養う。				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	理系であり、実学である看護を学ぶ学生にとって文学はなぜ必要か。 作文400字 「文学」って？			実作 講義
2	森 鴎外について 「高瀬舟」を読む①			講義
3	「高瀬舟」を読む②			講義
4	「高瀬舟」を読む③			講義
5	「高瀬舟」を読む④			講義
6	「高瀬舟」を読みおえて、安楽死について文章実作			実作
7	レイ・ブッドベリについて SFについて 「微笑」を読む①			講義
8	「微笑」を読む②			講義
9	「微笑」を読みおえて、微笑に関連した文章実作			実作
10	村上 春樹について 「青がきえる」を読む①			講義
11	「青がきえる」を読む②			講義
12	「青がきえる」を読む③			短歌・俳句創作 講義 実作
13	「青がきえる」を読みおえて、関連した題で文章実作			↓ 実作
14	「看護学科 学生の私にとっての文学」			実作
15	学科終了試験			実作
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
講師オリジナル資料		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の評価、向き合う姿勢、学科終了試験結果 これらを総合的に判断 ・60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 <p align="right">(次年度、再取得)</p>		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	1年次・後期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	英語 I	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
1. 看護や治療の成果に影響する英語会話力を高める。 2. 医療に関する基本的な英単語・英文法を理解する。 3. 教科書に出てくる長文の聞き取り、書き取り、音読、和訳ができる力を身につける。				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	Introduction /Unit1 自己紹介			講義 配布プリント・CD
2	Unit2 病状を説明する表現			
3	Unit3 道案内の英語表現 /院内施設と科の名称			
4	Unit4 症状をたずねる英語表現 /文を読む			
5	Unit5 診察時の指示の英語表現 No.1 /検査と治療の単語			
6	Unit6 相手に質問する時の英語表現 /文を読む			
7	Unit7 行為を促す時の英語表現 /疑問詞を使った質問			
8	Unit8 診察時の指示の英語表現 No.2 /文を読む			
9	Unit9 食に関する英語表現 /身体の部位の名称			
10	Unit10 薬に関する英語表現 /身体の部位の名称			
11	Unit11 「患者の要望に応える」			
12	Unit12 「治療方針について説明する」 /前置詞の使い方			
13	Unit13 オープンクエスチョン /現場で使われる略語			
14	Unit14 「退院後の生活指導」			
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
English for Cure and Hospitality I Press		<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義終了後、学科終了試験実施（筆記試験） ・ 60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・ 再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 (次年度、再取得) 		

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）看護学科2年課程】

【必修・選択】	【必修】	配当学年・時期	2年次・前期	担当講師名
分野	基礎分野	単位数・時間	1単位・30時間	外部講師
授業科目名	英語Ⅱ	授業回数	15回	
【ねらい・授業目的・目標】				
1. 看護場面に必要な英会話の基本を学ぶ。 2. 医療現場ですぐに使える単語表現を学ぶ。 3. CDを用いてよりよい発音で英文を読み、話せるようにする。 4. 教科書にあるまとまった英文を正しく読解する。				
授業回数	【授業内容】			学習形態
1	Unit1 内科で使う英語表現 /前置詞の使い方			講義 配布プリント・CD
2	Unit2 外科で使う英語表現 /指示の表現			
3	Unit3 産科で使う英語表現 /外来での表現			
4	Unit4 小児科で使う英語表現 /ワクチン用語			
5	Unit5 眼科で使う英語表現 /読解「Jet Lag」			
6	Unit6 耳鼻咽喉科で使う英語表現 /略語			
7	Unit7 皮膚科診療で使う英語表現 /道案内の表現			
8	Unit8 整形外科で使う英語表現 /「osteoporosis」			
9	Unit9 放射線科で使う英語表現 /読解「Walk Tall」			
10	Unit10 泌尿器科で使う英語表現 /数の表し方			
11	Unit11 婦人科で使う英語表現			
12	Unit12 心療内科で使う英語表現 /感情を表す表現			
13	Unit13 老人科で使う英語表現 /何かをする前の声かけ表現			
14	Unit14 緩和ケアに関する英語表現 /薬に関する表現			
15	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位認定方法】		
English for Care and HospitalityⅢ Press		・講義終了後、学科終了試験実施（筆記試験） ・60点以上合格。不合格の場合再試験実施（80点以上合格） ・再試験でも合格できない場合は、単位落としとなる。 （次年度、再取得）		